

希望

《学校教育目標》 自らを磨き 未来を拓く生徒

鯨井中学校だより 第21号
令和 3年 3月13日
1年 73名 2年 83名
3年 70名 全校226名

◇卒業生70名のみなさん、卒業おめでとうございます。

卒業生のみなさん、そして保護者の皆様、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には、3年間本校の教育活動やPTA活動等に温かいご支援、ご協力をいただきましたことに、感謝申し上げます。誠に、ありがとうございました。卒業生一人一人の4月からの進路先でのさらなる活躍を心より祈っております。



最後に、卒業式の式辞の一部を掲載させていただきます。

～前略～

卒業にあたり、皆さんに二つのお願いをします。

一つ目は、「志をもつこと」「目標をもつこと」を忘れないください。

私が歴史上で尊敬している人物の一人に上杉鷹山という人がいます。この人は、江戸時代に今の山形県の米沢市にあった米沢藩の第九代目藩主です。この当時この米沢藩は、莫大な借金を抱え、藩を江戸幕府に返上しようかと考えるほどの危機的状況でした。この危機を藩主になった上杉鷹山が、五十年以上もかけて立て直したのです。この上杉鷹山が残した言葉の一つに「為せば成る、為せねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり。」というものがあります。これは、強い意志を持って事にあたれば、必ず成功するという意味です。「やる気の大切さ」「志をもって努力する大切さ」を説いた言葉です。皆さんは、四月からそれぞれの進路先で新しいスタートを切ります。皆さんには、未知の可能性があります。ぜひ、新しい目標や志を立てて、努力し、自分の夢に一步一步近づいていってください。

二つ目は、今まで学校朝会などでも話をしたことがありますが、「人への感謝の心」を忘れないください。

皆さんは、鯨井中学校での三年間で心身共に大きく成長しました。このように大きく成長できたのは、皆さん一人一人の頑張りがあったからだと思います。しかし、皆さんが大きく成長できたのは、家族や先生方、そして、日々の生活の中でお世話になっている地域の皆様など、たくさんの方々からの助けや励ましがあったからではないでしょうか。「お陰様で、〇〇できました。ありがとうございました。」という感謝の気持ちをいつまでも忘れないでほしいのです。

これから新しい進路先で自分の将来の夢を見つけ、その夢に向かって進んでいく時に、自分で努力していくことはもちろんですが、誰かに助けってもらわなければ解決できないことが出てきます。人に恩を感じて、感謝できる人は、他人に対しても温かい心を持つ人になれます。そういう人であれば、皆さんを助けてくれる人達が増え、皆さんの夢の実現に近づいていけると思います。反対に、感謝することを忘れ、おごり高ぶるような人になってしまうと、人は、離れていってしまいます。是非、人に感謝する気持ちをこれからも持ち続け、感謝の言葉や気持ちを伝えられる人であってください。

卒業生の皆さんのこれからのますますのご活躍を心より祈っております。また、保護者の皆様には、三年間大変お世話になりました。ありがとうございました。感謝申し上げます。 ～後略～

◇鯨井中学校の生徒（3年生）の活躍を讃えた表彰など（敬称略：1、2年生は、3月26日号に掲載予定です。）

- 埼玉県教育委員会生徒表彰：3年生男子
- 埼玉県体育協会体育優良生徒表彰：3年生男子、3年生女子
- 埼玉県産業教育振興会生徒表彰：3年生男子
- 川越市体育協会体育賞：3年生女子、3年生男子
- 第61回埼玉県小・中学校児童生徒美術展覧会：特選（3年生男子）、入間地区入選（3年生女子3名3年生男子1名）

◇性に関する学習会を実施しました。将来の交際時に生かしてください。

3月5日（金）に埼玉医科大学産婦人科医の先生をお招きして、望ましい男女交際の在り方や性感染症に関する講演をしていただきました。3年生は、とてもよく講演を聞いており、感染症に関する簡単な実験などにもしっかり取り組んでいました。

また、最後に講演を踏まえての質問が3つも出るなど、とても有意義な学習会になったと思います。

これからそれぞれの進路先で新しい出会いがあると思います。今日の学習を参考にし、お互いを思いやるよりよい交際をしていってください。



高橋先生の講演のようす



性感染症に関する実験のようす

◇よき思い出となる三送会となりました。

緊急事態宣言延長のために、全校生徒による三送会はできませんでした。しかし、生徒会本部と三送会実行委員を中心とした1、2年生の温かい感謝を込めた会場の装飾やメッセージ、ビデオレター等が準備され、とても素晴らしい会となりました。1、2年生の皆さん、事前の準備ありがとうございました。3年生の皆さんもきっと楽しめたことと思います。3年生の皆さんは、鯨井中学校

での3年間の思い出をこれからも大切にしていってください。



川越市長様からの卒業生への祝辞紹介

祝 辞



川越市長 川合善明

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんの新たな門出に当たり、川越市長として、心から御祝いを申し上げます。

本来であれば、多くの方々の御列席のもと、盛大に卒業式が行われるところでしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、卒業生の皆さんと保護者の皆様、学校の教職員の方々と卒業式となりました。今回の措置は、未来を担う大切な皆さんを含めご家族や教職員の方々に、決して感染を広げないという強い思いから実施されたものです。卒業式に参加することはできませんが、在校生、地域の方々なども皆さんの卒業を心から祝福していることを胸に刻んでいただきたいと思います。

皆さんは三年前、新たな希望を抱いて本校に入学されました。それ以来、先生方の御指導と、御家族や地域の方々の温かい励ましに支えられて、本日もたく卒業証書を手に入れました。

今、皆さんの胸には、この三年間の思い出が次々と浮かび上がっていることでしょう。その一つ一つが、積み重ねてこられた成長のあかしであり、中学校生活で育んできた先生方や友との心の絆は、生涯を通じて皆さんの支えとなります。かけがえない仲間との絆をいつまでも大切にしてください。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活の様々な場面で制約を余儀なくされるなど、これまでに経験したことのないような一年でした。新型コロナウイルス感染症の流行は、いまだ予断を許さない状況であり、世界中で、ふれあい、集うことを極力避け、人と人が身体的な距離をとることが強く求められています。これまでの人と人とのつながり方を改めて考え、新たな方法を生み出そうと試行錯誤している状況です。自分が人に与える影響、そして自分が人から与えられる影響を考えてみるよい機会ではないでしょうか。その上で、今自分にできることは何かを考え行動してみましょう。そうすることで新たな人と人とのつながり方が見えてくるかもしれません。このような時代だからこそ、できることがきつとあるはずですよ。

さて、本年は延期されていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が実施される予定であり、本市でオリンピックのゴルフ競技が開催される記念すべき年となります。また、令和四年の市制施行百周年に向けて、「時をつなぐ 未来をつむぐまち 川越」のキャッチフレーズも決まりました。このキャッチフレーズの未来をつむぐのは、まさに卒業生の皆さんです。私は市長として、皆さんをはじめ市民の皆様が住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまちの実現を目指し、今後も全力を尽くしてまいります。皆さんも人と人とのつながりを大切にし、それぞれが選んだ進路で、ご活躍することを期待しております。

結びに、皆さんの輝かしい前途を心から御祝いするとともに、御家族の皆様、諸先生方、並びに地域の皆様へ深く感謝を申し上げます。祝辞といたします。

◇3年生最後の球技大会を楽しみました。

3月10日に3年生最後の学年行事である球技大会が開催されました。審判はつけずに反則等は自分たちで判断して行うなど、自分たちでしっかり楽しもうとする素晴らしい企画でした。さすが、3年生だと思いました。強風の吹く中でしたが、校庭で男女別でのサッカーとドッジボール、最後に男女混合のドッジボールを楽しむことができました。

